

車いす用ボンベ架 KF-28 説明書

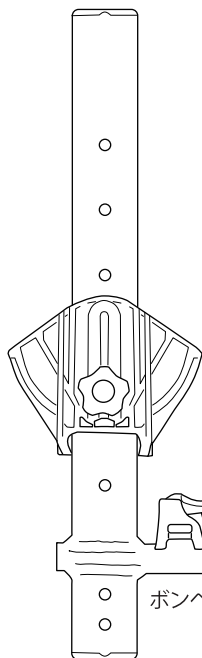
K F - 2 8 マルチボンベ架



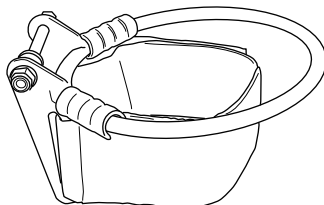
車いすへのボンベ架取付け作業につきましては、専門知識と技術を持った販売店にご依頼ください。

パーツ一覧

本製品を取付部品として購入いただいた場合は、下記のパーツがセットになっています。



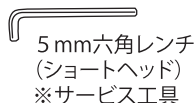
ボンベ架本体



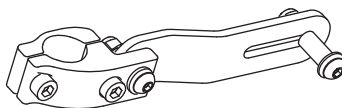
リング+ベルト



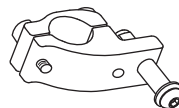
転倒防止バー



5 mm六角レンチ
(ショートヘッド)
※サービス工具



バックパイプ用クランプ+ステー



ティッピングレバー用クランプ



注意

バックパイプ用クランプ及びティッピングレバー用クランプの内面の白いテープは車いすパイプへのキズつきを軽減するためのものです。白いテープをはがさずに組付けと使用してください。

目次

- ボンベ架の組付け … P 2 ~ P 13
- ボンベ架の使用方法 … P 14 ~ P 18

ボンベ架の組付け



組付けの際の注意事項

- 全てのボルト・ナットは、ゆるめに締めながら組付けてください。ひととおり組みあがってから、最後に全てのボルト・ナットを固く締めてください。
- 本品は日進医療器製車いす用のボンベ架です。日進医療器製以外の車いすに取付けないでください。
- 車いすのフレーム形状等があわず、本製品が正しく取付けできない場合は、使用をしないでください。本製品を無理に取付けての使用はしないでください。
- 部品には一部鋭利な部分や、可動して手指を挟む可能性のある箇所がありますので、怪我をしないよう十分に気をつけながら組付けてください。
- 組付けの際は、車いすの駐車ブレーキをかけた状態で作業をしてください。
- 万が一、部品に不足や不具合がございましたら、お買い上げの販売店にお申し出ください。

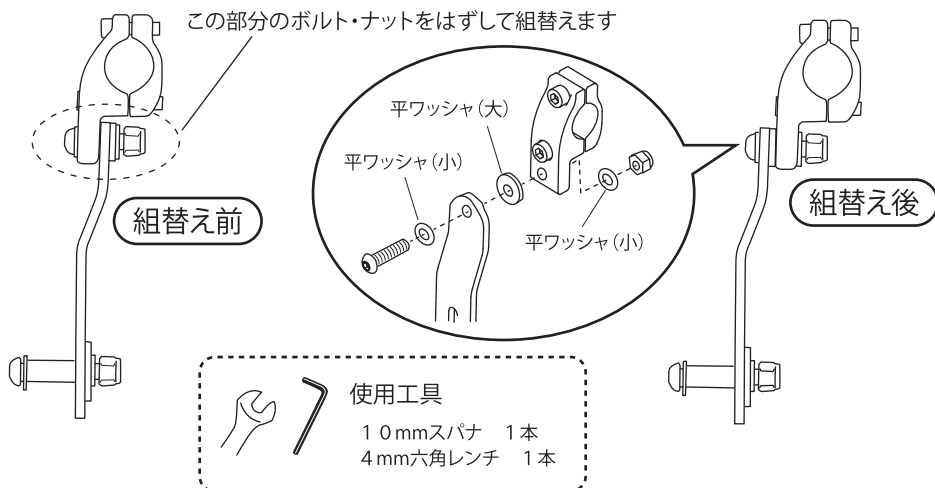


車いすへのボンベ架取付け作業につきましては、専門知識と技術を持った販売店にご依頼ください。

1 バックパイプ用クランプ+ステーの組替え (NAH-SU1・NAH-SU2Wに装着時のみ)

ボンベ架KF-28を車いす(シン・ウルトラシリーズ介助用)NAH-SU1 及び NAH-SU2Wに装着する場合のみバックパイプ用クランプ+ステーの組替えを行います。

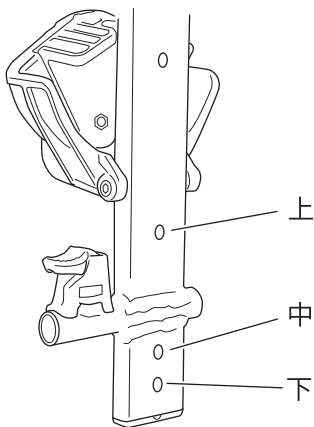
※NAH-SU1 及び NAH-SU2Wは、バックパイプ下部が内側に曲げられており、ベースパイプが内側に入り込んでいる構造のため、この作業が必要です。



注意

車いす(シン・ウルトラシリーズ介助用)NAH-SU1 及び NAH-SU2W 以外に装着する場合は、この組替え作業は行わないでください。

2 ボンベ架本体へのティッピングレバー用クランプの組付け



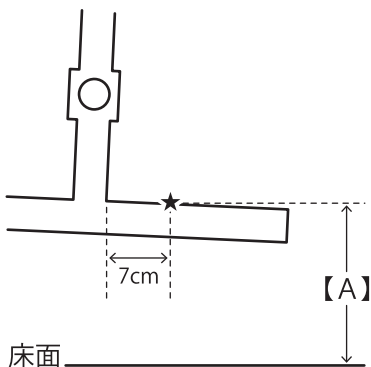
ボンベ架本体の左図の「上」「中」「下」のどの位置の穴にティッピングレバー用クランプを組付けするのを確認します。

ボンベ架を装着する車いすが
シン・ウルトラシリーズ / 座王 Xシリーズ / NEOシリーズ /
NEO-βシリーズ / NF-1 の場合



P 12・13の組付け仕様表で、ティッピングレバー用クランプの組付け位置を確認してください。

ボンベ架を装着する車いすがP 12・13の組付け仕様表に記載のない場合は、下記の手順でティッピングレバー用クランプの組付け位置を確認します。

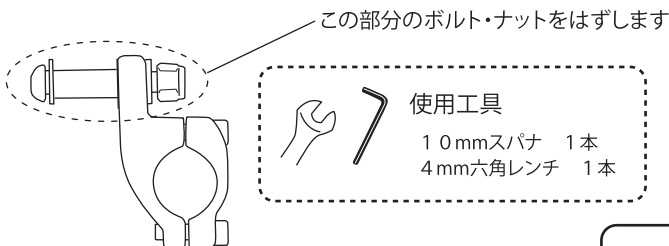


ボンベ架を装着する車いすのティッピングレバー上面のバックパイプから7cm後方部分(左図★部)の床面からの高さ(左図【A】の寸法)を測定してください。

【A】の寸法をもとに、下の表でティッピングレバー用クランプの取付け位置を確認してください。

【A】の寸法 (cm)	ティッピングレバー用クランプの取付け位置
16以上	上
10～15.9	中
9.9以下	下

ボンベ架本体にティッピングレバー用クランプを組付けるために、ティッピングレバー用クランプの下図のボルト・ナットをはずします。



使用工具

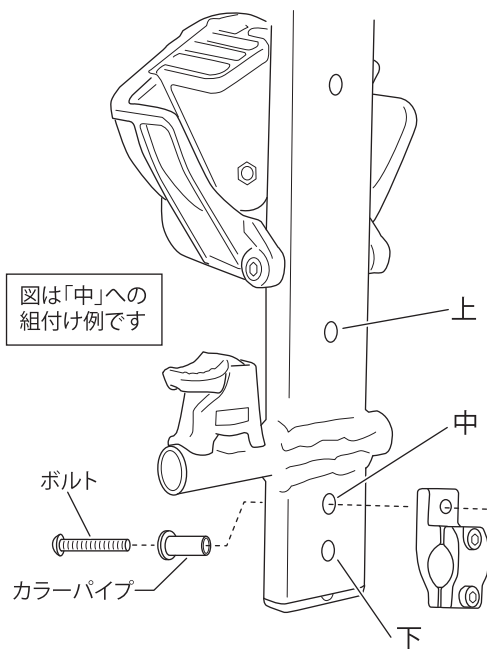
1.0mmスパナ 1本
4mm六角レンチ 1本



はずしたパーツをなくさないように注意してください。


次ページに続きます





ティッピングレバー用クランプをポンベ架本体の確認した「上」「中」「下」のいずれかの穴に組付けます。

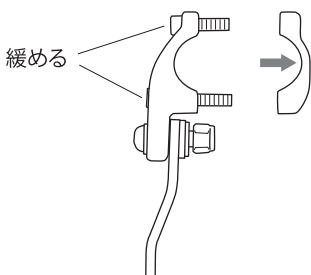
ティッピングレバー用クランプからはずした、ボルト・カラーパイプ・平ワッシャー・ナットを使用して、左図の通りに組付けてください。

 図と反対側の面に組付けないようにご注意ください。


平ワッシャー
ナット


  使用工具
10mmスパナ 1本
4mm六角レンチ 1本

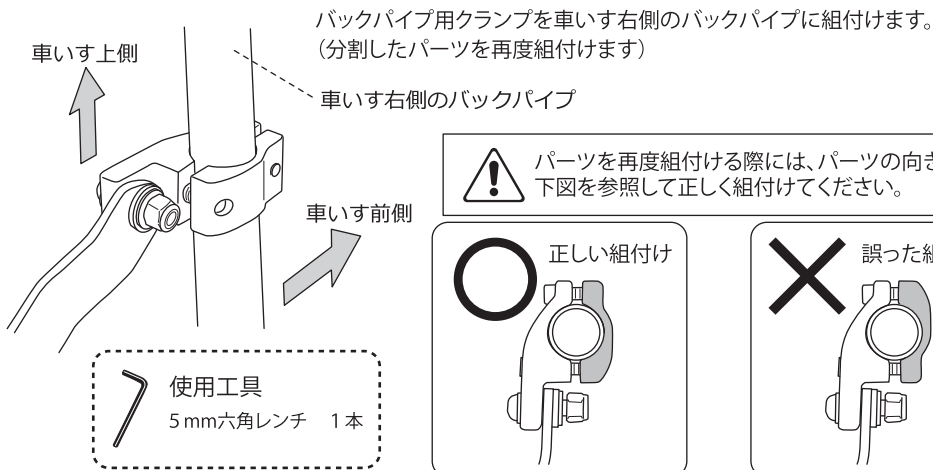
3 バックパイプ用クランプ+ステーを車いすバックパイプに組付け



バックパイプ用クランプのボルトを緩め、バックパイプクランプのパーツを分割させます。

 使用工具
5mm六角レンチ 1本

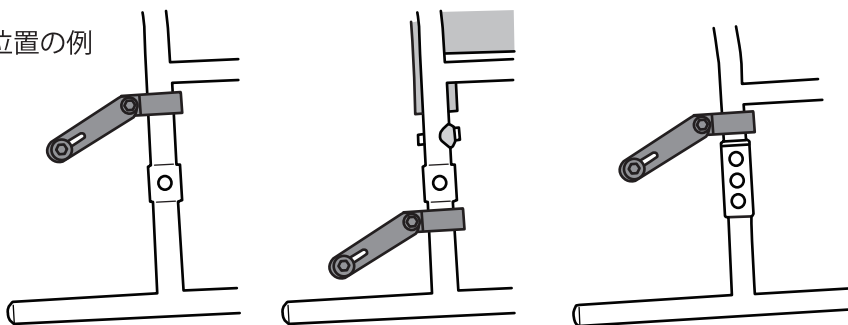
 はずしたパーツをなくさないように注意してください。



バックパイプ用クランプ組付け位置

取付け可能な範囲で、座面より下のできるだけ高い位置に組付けします。

組付け位置の例

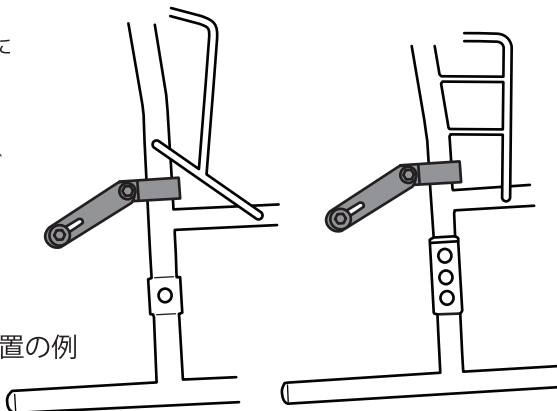


搭乗者のヒップ部分が直接バックパイプに触れない、骨盤サポート機能付きの車いすの場合は、座面のすぐ上の箇所に組付けることもできます。

(シン・ウルトラシリーズ/座王Xシリーズなど)

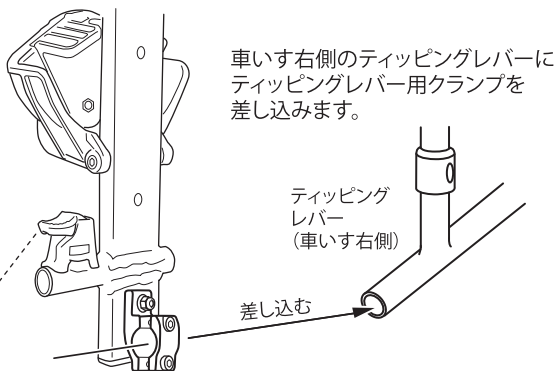
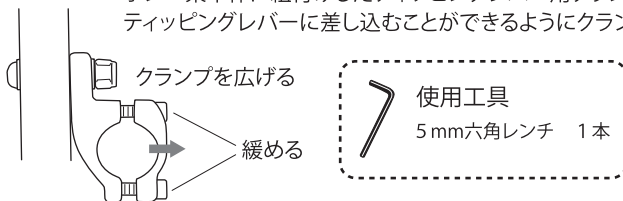
これらの車いすで、座面より下では十分な高さが確保できない場合には、座面のすぐ上の箇所に組付けてください。

組付け位置の例



4 ボンベ架本体を車いすティッピングレバーに組付け

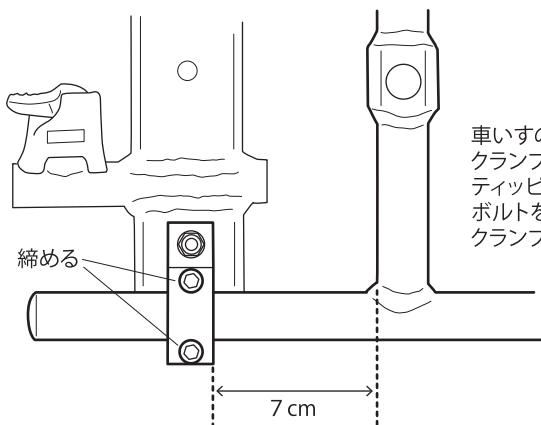
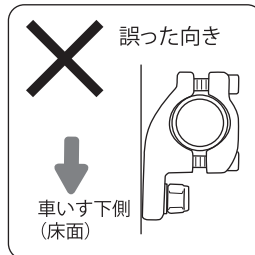
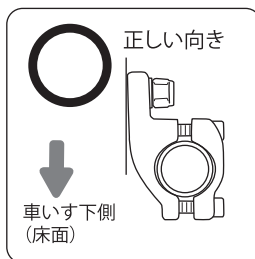
ボンベ架本体に組付けしたティッピングレバー用クランプのボルトを緩め、ティッピングレバーに差し込むことができるようにクランプを広げます。



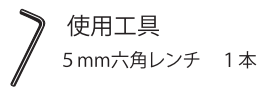
黄色いレバーが車いす後ろ側になるように差し込みます



ティッピングレバー用クランプの向きに注意し、下図を参照して正しく差し込んでください。



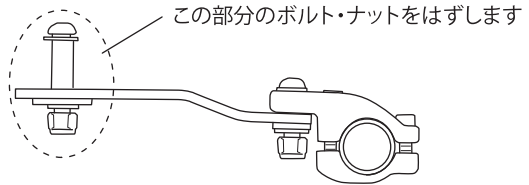
車いすのバックパイプとティッピングレバー用クランプ間の距離が7cmになる位置で、ティッピングレバー用クランプの2本のボルトを締め、ティッピングレバー用クランプを組付けます。



車輪との隙間により通常の5mm六角レンチが使用できない場合は付属のショートヘッドの六角レンチをご使用ください。

5 ステーをボンベ架本体に組付け

ボンベ架本体にステーを組付けるために、ステーの右図のボルト・ナットをはずします。

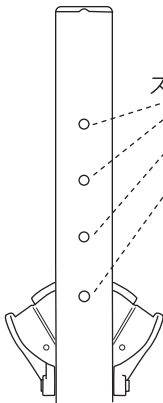


使用工具

10mmスパナ 1本
4mm六角レンチ 1本



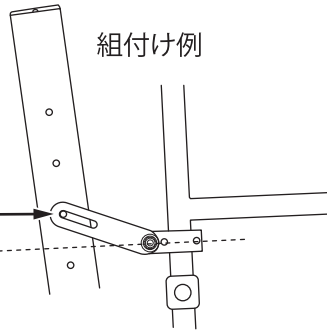
はずしたパーツをなくさないように注意してください。



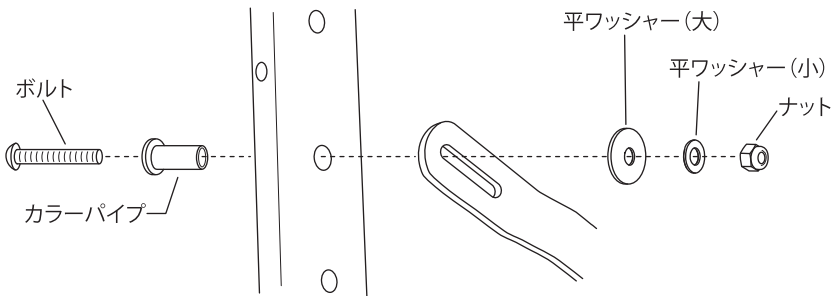
ボンベ架本体にある、4カ所のステー組付け用穴のうち、バックパイプ用クランプより高い位置にあるバックパイプクランプに最も近い位置の穴で、ボンベ架本体にステーを組付けます。

バックパイプクランプより高い位置にあり、バックパイプ用クランプに最も近い位置の穴

組付け例



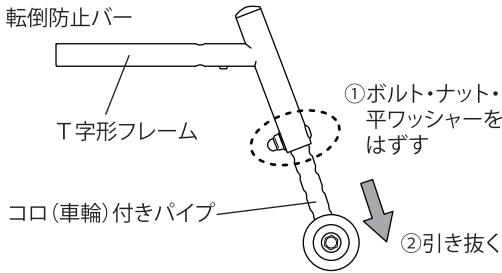
ステーからはずした、ボルト・カラーパイプ・平ワッシャー・ナットを使用して、下図の通りに組付けてください。




使用工具

10mmスパナ 1本
4mm六角レンチ 1本

6 転倒防止バーの取付けと、転倒防止バーの高さ調節



- ① 転倒防止バーのT字型フレームとコロ付きパイプを固定している、左図点線部のボルト・ナット・平ワッシャーをはずします。
- ② T字型フレームからコロ付きパイプを手で引き抜きます。

 はずしたパーツをなくさないように注意してください。



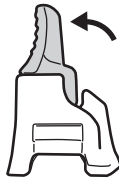
使用工具

10mmスパナ 1本
4mm六角レンチ 1本

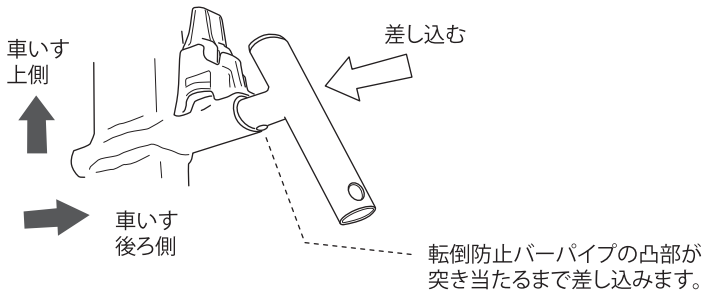


コロ付きパイプはゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引き抜くと製品の破損やケガのおそれがあります。

ポンベ架本体の黄色いレバーを指で上に上げます。



T字形フレームをポンベ架本体に車いす後方から差し込みます。

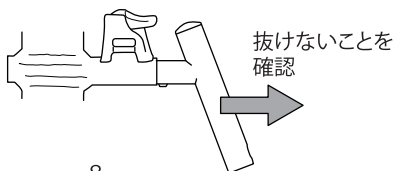


ポンベ架本体の黄色いレバーを指で下げます。



レバーと部品の間で手指を挟まないように注意してください。

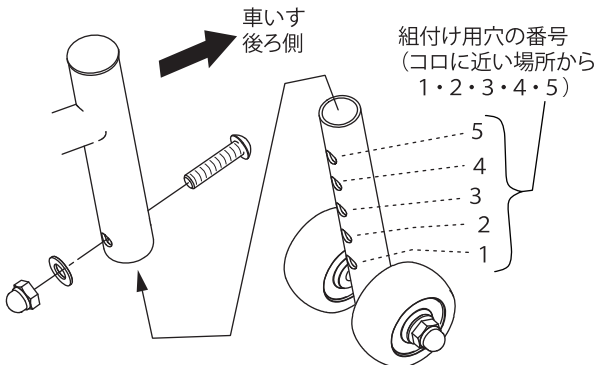
T字形フレームを後方に引いても抜けないことを確認してください。



T字形フレームからはずした、ボルト・平ワッシャー・ナットを使用し、T字形フレームにコロ付きパイプを組付けします。
(コロ付きパイプを使用に適切な高さでT字形フレームに組付けします)

使用工具

10mmスパナ 1本
4mm六角レンチ 1本

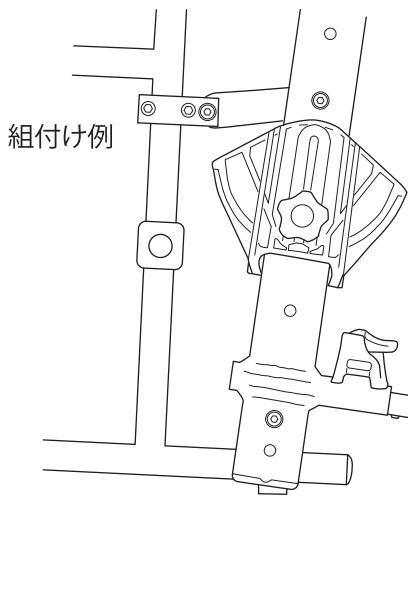


ボンベ架を装着する車いすが
シン・ウルトラシリーズ / 座王Xシリーズ /
NEOシリーズ / NEO-βシリーズ / NF-1の場合



P 12・13の組付け仕様表で、コロ付きパイプの組付け位置を確認してください。

ボンベ架を装着する車いすがP 12・13の組付け仕様表に記載のない場合は、下記の通りに組付け作業を行います。



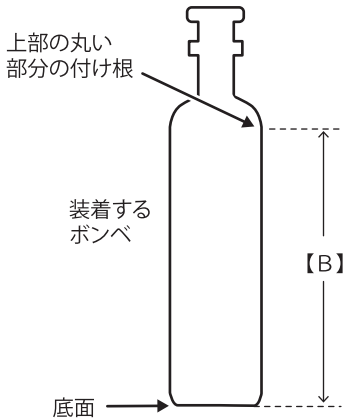
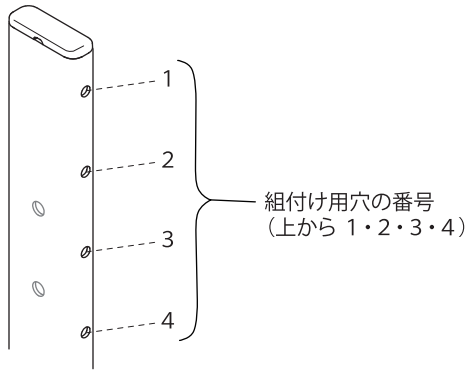
転倒防止バーのコロの再下端部の高さが床面から2～3cmの間になるように、組付け用穴(1・2・3・4・5)を選択し、コロ付きパイプをT字形フレームに組付けてください。

床面 _____ ↑ 2～3 cm

7 ボンベ架本体にリング+ベルトを装着

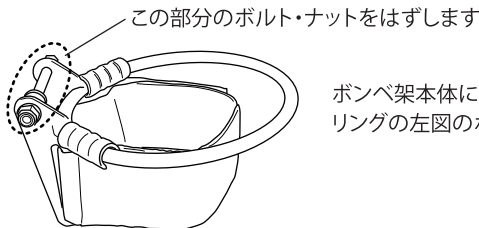
ボンベ架本体の右図の「1・2・3・4」のどの位置に穴にリング+ベルトを組付けするのを確認します。

車いす
上側
↑



ボンベ架に装着するボンベの上部の丸い部分の付け根から底面までの長さ(左図【B】の寸法)をもとに、下の表で、使用する組付け用穴を確認してください。

【B】の寸法 (cm)	リング+ベルトの組付け用穴
3.6以上	1
3.1～3.5.9	2
2.6～3.0.9	3
2.1～2.5.9	4



ボンベ架本体にリングを組付けるために、リングの左図のボルト・ナットをはずします。



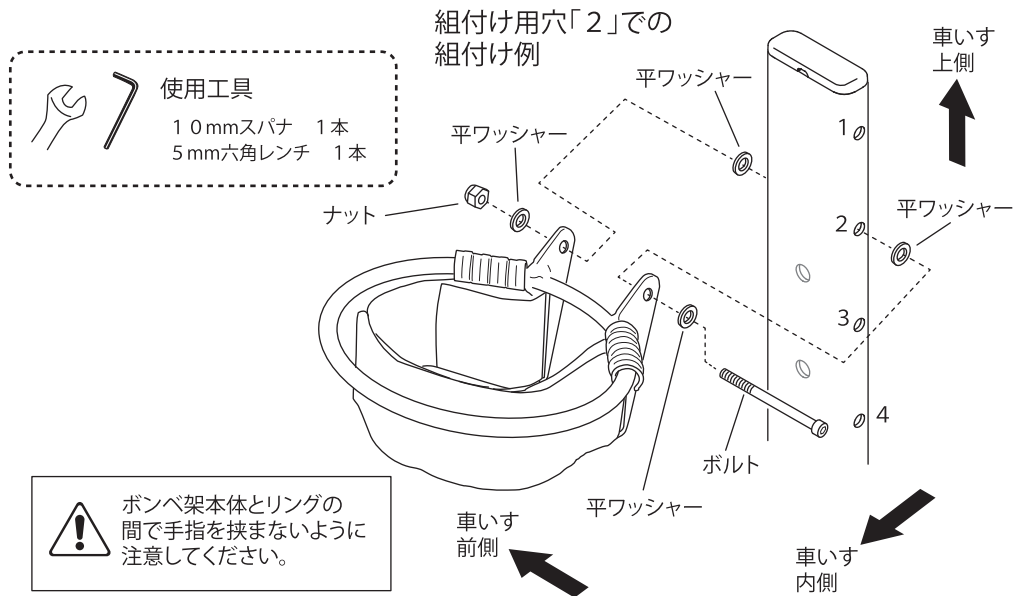
使用工具

10mmスパナ 1本
5mm六角レンチ 1本



はずしたパーツをなくさないように注意してください。

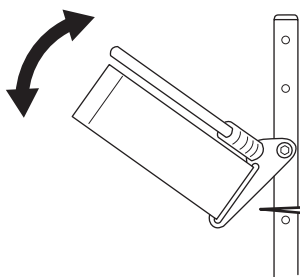
リングをボンベ架本体の確認した「1・2・3・4」のいずれかの穴に組付けます。
 リングからはずした、ボルト・平ワッシャー・ナットを使用して、下図の通りに組付けてください。



8 各部の本締め

仮締めの状態となっている、下記の全ての各ボルト、ナットをしっかり和締めなおして、確実に固定します。

- バックパイプ用クランプとステーの接続部
- バックパイプ用クランプの車いすバックパイプへの固定
- ステーとボンベ架本体の接続部
- ボンベ架本体とティッピングレバー用クランプの接続部
- ティッピングレバー用クランプの車いすティッピングレバーへの固定
- 転倒防止装置のT字形フレームとコロ付きパイプの接続部



ボンベ架本体とリングの接続部を本締めします。
 リングを手で動かすことができ、手を離れたときには、
 離れたときの状態でしっかり留まる固さに調整してください。

ボンベ架本体とリングの間で手指を挟まないように注意してください。

組付け仕様表

ボンベ架を装着する車いすが、
 シン・ウルトラシリーズ / 座王Xシリーズ の場合は下の表で、
 「ボンベ架本体へのティッピングレバー用クランプの組付け位置」
 「転倒防止バーT字形フレームへのコロ付きパイプの組付け位置」を確認してください。

■シン・ウルトラシリーズ

車いす機種名	車いす 座面高設定	2 (P 3 参照) ボンベ架本体への ティッピングレバー用 クランプの組付け位置	6 (P 9 参照) 転倒防止バー T字形フレームへの コロ付きパイプの 組付け位置
NA-SU1	—	上	2
NAH-SU1	—	中	4
NA-SU2W	—	上	2
NAH-SU2W	—	中	4
NA-SU7・Hi	前座高設定 43	下	2
	前座高設定 45	中	2
	前座高設定 47	中	3
NAH-SU7・Hi	前座高設定 43	下	2
	前座高設定 45	中	2
	前座高設定 47	中	3
NA-SU7・Lo	前座高設定 36	下	1
	前座高設定 38	下	2
	前座高設定 40	中	2
NAH-SU7・Lo	前座高設定 36	下	1
	前座高設定 38	下	2
	前座高設定 40	中	2

■座王X シリーズ

車いす機種名	車いす 座面高設定	2 (P 3 参照) ボンベ架本体への ティッピングレバー用 クランプの組付け位置	6 (P 9 参照) 転倒防止バー T字形フレームへの コロ付きパイプの 組付け位置
NA-X521W	前座高設定 38	中	4
	前座高設定 40	中	5
	前座高設定 42	上	1
NAH-X521W	前座高設定 38	中	2
	前座高設定 40	中	3
	前座高設定 42	中	5

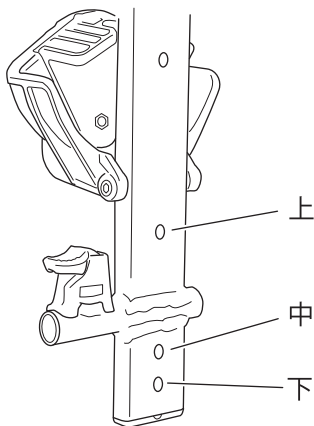
ボンベ架を装着する車いすが、
 NEO-β シリーズ / NEO シリーズ / NF-1 の場合は下の表で、
 「ボンベ架本体へのティッピングレバー用クランプの組付け位置」
 「転倒防止バー T 字形フレームへのコロ付きパイプの組付け位置」を確認してください。

■NEO-β シリーズ / NEO シリーズ / NF-1

		2 (P 3 参照)	6 (P 9 参照)
車いす機種名		ボンベ架本体への ティッピングレバー用 クランプの組付け位置	転倒防止バー T 字形フレームへの コロ付きパイプの 組付け位置
NEO-β シリーズ	NEO-1β	上	1
	NEO-2β	上	1
	NEO-1βW	上	1
	NEO-2βW	上	1
NEO シリーズ	NEO-1	上	1
	NEO-2	上	1
	NEO-1W	上	1
	NEO-2W	上	1
	NEO-0レザー	上	1
NF-1		上	2

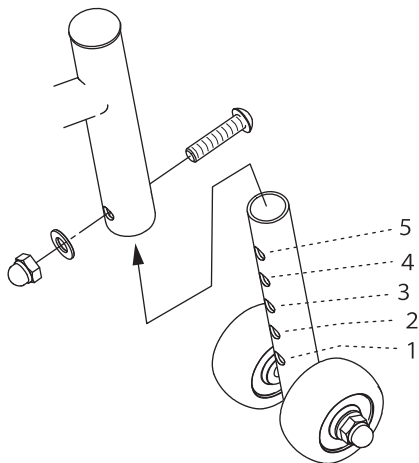
2 (P 3 参照)

ボンベ架本体への
ティッピングレバー用クランプの組付け位置



6 (P 9 参照)

転倒防止バー T 字形フレームへの
コロ付きパイプの組付け位置



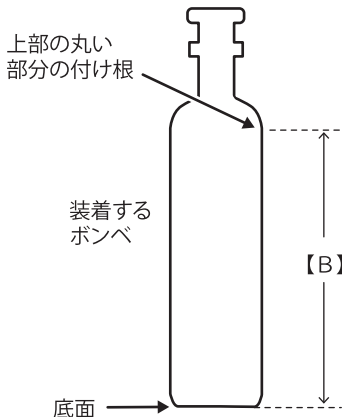
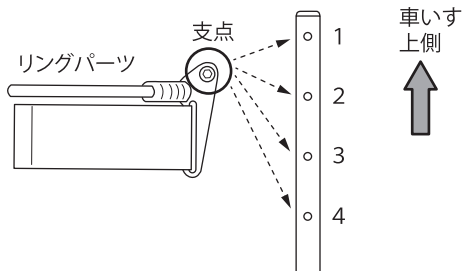
ボンベ架の使用方式



使用前にご確認ください

- 本ボンベ架の、ポンペを支えるリングの位置は4段階の高さ調節式です。ポンペを装着する前に、リングの設定が使用するポンペに対応しているかをご確認ください。

ボンベ架のリングパーツの支点が、ボンベ架の支柱の右図(1~4)のどの穴に接続されているかを確認してください。



ボンベ架に装着するポンペの上部の丸い部分の付け根から底面までの長さ(左図【B】の寸法)をもとに、下記の表でボンベ架のリングパーツが、使用するポンペに対応する位置に接続されているかを確認してください。

【B】の寸法(cm)	リングパーツ支点の対応接続位置
3.6以上	1
3.1~3.5.9	2
2.6~3.0.9	3
2.1~2.5.9	4

確認の結果、製品の接続位置が使用するポンペに対応していない場合は、使用を中止し、販売店にリング位置の変更作業をご依頼ください。(変更方法はP10・11を参照ください)



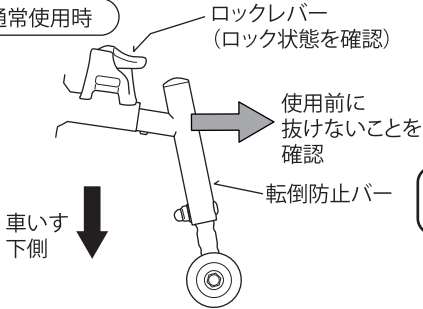
リング位置の変更作業につきましては、専門知識と技術を持った販売店にご依頼ください。

転倒防止装置の使いかた



転倒防止装置の確認や操作は、車いすの駐車ブレーキをかけた状態で行ってください。車いすが思わず走行してしまうだけでなく、確認や操作中に車輪が回転すると、スポークで手指のケガをするおそれがあります。

通常使用時



ボンベ架の下部後方に転倒防止バーが左図のように設置されていて、ロックレバーがロック状態(下図参照)になっていることと転倒防止バーを手で後方に引いても抜けないことを確認してください。

通常はこの状態で使用してください

ロック状態



レバーが下向きにおりていてかつ、転倒防止バーが固定されている状態



レバーと部品の間で手指を挟まないように注意してください。



ロック解除状態

レバーを上方向に引き上げた状態

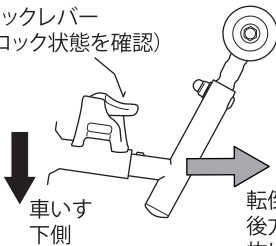


ロック解除状態

レバーを下方方向に押し込んだ状態

段差越えなどで一時的に車いすの前輪を上げるとき

ロックレバー
(ロック状態を確認)



ロックレバーをロック解除状態にし、転倒防止バーを180度回転させてから、ロックレバーを再びロック状態にします。転倒防止バーを手で後方に引いても抜けないことを確認してください。

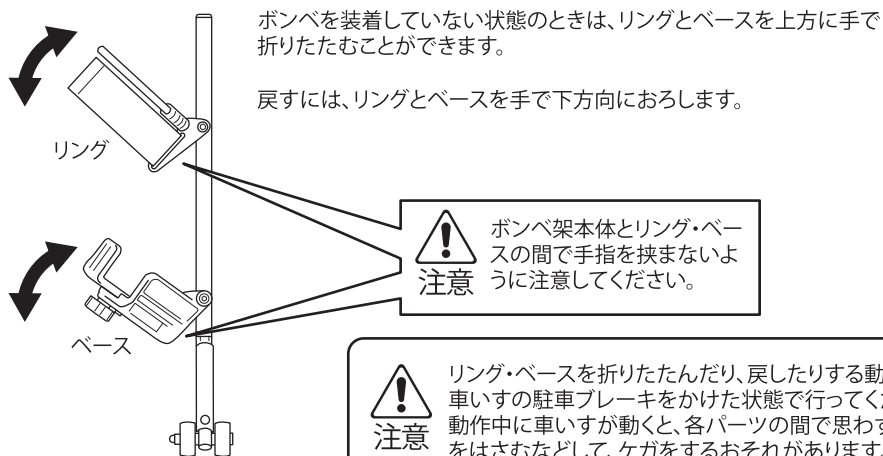


転倒防止バーの口コ(車輪)が上を向いている状態では車いすの転倒の危険が高まります。段差越え等は介助者が車いすをしっかり支えながら慎重に行ってください。段差越え等がすんだら、すぐに車いすの駐車ブレーキをかけて、転倒防止装置を通常使用時の状態に戻してください。



- ロックレバーや転倒防止バーを足で操作しないでください。
- 転倒防止装置をティッピングレバーとして使用しないでください。(転倒防止装置を足で踏まないでください。)
- 転倒防止装置を持って車いすを持ち上げないでください。
- 製品の使用前には、転倒防止装置確実が固定されていて、抜けたり回ったりしないことを確認してください。
- 製品を使用の際は、かならず転倒防止装置を設置してください。
- 転倒防止装置は転倒をしにくくする効果がありますが、転倒を完全に防止するものではありませんのでご注意ください。

折りたたみかた・戻しかた

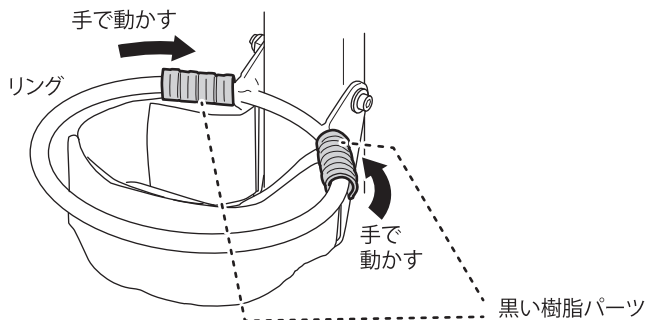


ポンペの装着のしかた



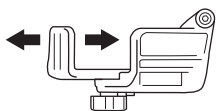
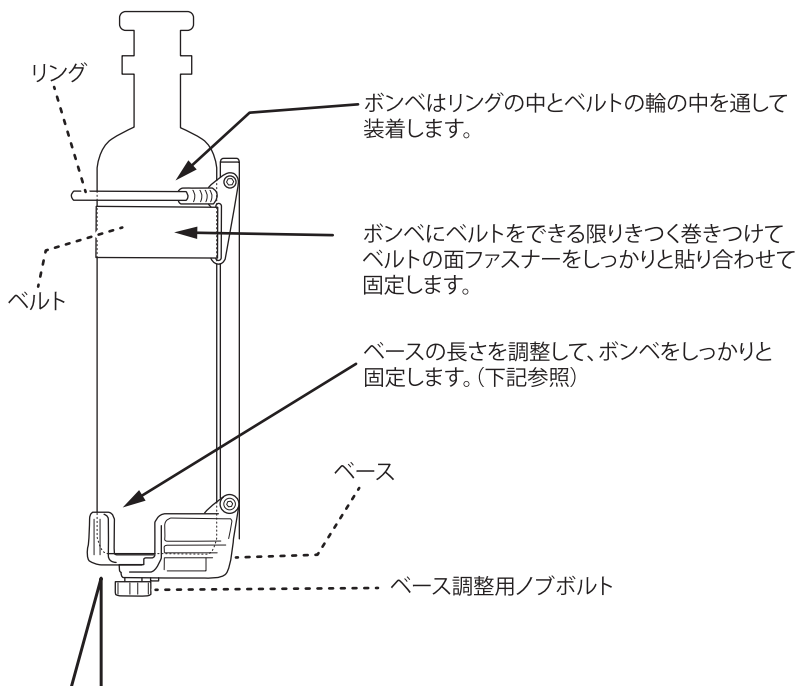
ポンペの着脱は、平坦で安全な場所で、車いすの駐車ブレーキがかかっている、ポンペ架の転倒防止装置が正しく設定された状態で行ってください。車いすがバランスをくずして転倒しないよう、十分に注意して作業してください。

- 1 リングに取付けられている2つの黒い樹脂パーツが下図の位置にあるか確認します。位置がずれている場合は、下図の位置まで手で樹脂パーツを動かしてください。



黒い樹脂パーツは、装着したポンペがリングに触れて出る音を軽減するためのものです。

- 2** リングの中に上からポンペを差し込んで、装着します。
ベースを調節し、ベルトをしっかりとポンペに巻きつけて、ポンペを固定します。

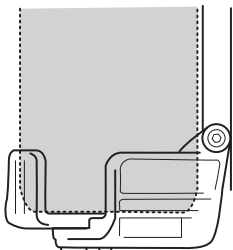


ベース調整用ノブボルトを緩めると、ベースの長さを調節することができます。



注意

ノブボルトを緩めすぎるとノブボルトがはずれてしまいます。必要以上に緩めすぎないように注意してください。



ベースの壁面内側がしっかりとポンペの外側に接触する長さにベースを調整し、調整用ノブボルトをしっかりと締めて固定してください。



**注意
警告**

ノブボルトの締め忘れがないようご注意ください。ノブボルトがしっかりと締まっていないと、使用中にポンペが落下し、製品の破損や事故につながるおそれがあります。



締め忘れないように注意



使用の際の注意事項

- ご使用前には必ず各部のネジのゆるみ、各部の亀裂、破損等やパーツの不足がないか点検してください。不具合のある状態及びパーツの不足した状態で使用しないでください。
- 本製品に合わないサイズや形状のボンベを無理に装着して使用しないでください。
- ボンベを装着した車いすは転倒しやすくなります。使用の際には車いすの転倒に十分注意してください。車いす搭乗者の車いす操作に不安がある場合は、介助者が目を離さずにサポートし、事故防止に努めてください。
- 車いすの各部が可動式の場合（アームサポート跳ね上げ式・バックサポート折りたたみ式など）、車いすの各部を動かしたときに、可動部が装着したボンベやその付属品に当たらないようご注意ください。
- 改造や分解はしないでください。
- 製品の改良・改善により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄につきましては、販売店までお問合せください。



警告

製品に異常がある場合は使用を中止し、すみやかに販売店に修理・部品交換・調整をご依頼ください。

MEMO

日進医療器株式会社

本 社 〒481-8681 愛知県北名古屋市中村権現35番地の2
TEL<0568>21-0635(代) FAX<0568>23-2787

東京営業所 〒112-0011 東京都文京区千石2丁目 2-1
TEL<03>3943-5200(代) FAX<03>3943-5222

大阪営業所 〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里 6-16-10
TEL<06>6323-8265(代) FAX<06>6326-2554

九州営業所 〒812-0876 福岡県福岡市博多区昭南町2丁目3-8
TEL<092>513-5036(代) FAX<092>513-5038

製品の廃棄方法

ご不用となった製品を処分される場合の廃棄方法につきましては、
お住まいの自治体のルールに従ってください。

TRV-092-01